

■ 投稿論文

産婦人科に関連する領域の原稿で、すべて実地臨床に沿った論文に限ります。

また、他誌への投稿中の論文は御遠慮下さい。

■ 原稿の採否について

- ・原稿の採否は編集委員会にて採否決定されます。
- ・編集方針に従って、原稿の加筆・削除・改稿をお願いする事があります。
- ・採否の結果はご通知いたします。
- ・掲載料は原則として無料です。

■ 論文の種類と原稿枚数（図表含）

投稿論文の種類と原稿枚数の目安は以下の通りです。

今日の話題：20枚 総説：20枚 原著：20枚

診療：20枚 臨床経験：20枚 症例：15枚

なお、論文の掲載欄は編集委員会にて決定いたします。

■ 論文の書き方

- ・論文原稿は平仮名まじりの口語体、新かなづかいの横書きとし、A4判またはB5判の紙に印刷して下さい。
- ・本文、図原稿データ入りのメディアを必ず添付して下さい。執筆者名・使用機種（ソフトウェア）名を明記して下さい。
- ・原稿用紙の1枚目に、ご希望の掲載欄、次に表題・著者名（9名までとし、読み仮名を英文で記述する）・所属・役職の順で明記（共著の際は校正者を必ず指定）して下さい。
- ・すべての原稿に250字以内の要旨をつけて下さい。
- ・記述の順序は、原則要旨・はじめに・方法・成績・考察・おわりに・文献・図表（写真）として下さい。
- ・度量衡の単位はcgs単位を用い、数字は算用数字を用いて下さい。
- ・英語のつづりは米国式（例：estrogen, gynecology）で外国の人名、地名は原語のままで記載して下さい。

■ 文献について

- ・文献引用は、論文に直接関係あるもの20編以内にとどめ、末尾に一括して引用した順に掲げて下さい。
- ・文献での著者名は1名までとし、論文の表題を必ず入れ、次のように記載して下さい（本文中では引用部位の右肩に文献番号^{1) 2)}を必ず付けて下さい）。

- 1) 進 純郎ほか：一絨毛膜性双胎の問題点、産婦の実際 42：203-210, 1993
- 2) 星 和彦ほか：男性不妊、産婦人科学書Ⅰ（編：森崇英ほか）、p508-520、金原出版、1994
- 3) Gilstrap LC et al：Thetransferofthenucleosideanalogganciclovircrossstheperfusedhumanplacenta. AmJObstetGynecol 170：967-973,1994
- 4) Nicolaides KH et al：Ultrasonographicallydetectablemarkersoffetalchromosomaldefects（ed：NeilsonJP et al）.p41-82,Oxford University Press,1993

■ 図・表・写真について

- ・図、表および写真は、本文中に貼りつけず、必ず1枚ずつ別紙に添付して下さい。
- ・写真はなるべくjpgファイル形式とし、解像度は350dpi以上をご用意下さい。
- ・カラーの使用には制限があります。
- ・図と写真は区別せず、通し番号を付記して下さい。
- ・図表の挿入される位置を原稿に明記して下さい。
- ・図および表を引用の際は、出典を必ず明記して下さい。
- ・他誌掲載の英語の図表を引用する場合は、日本語にして下さい。
- ・他誌より図表を転載する場合は、出版元の許諾を得て下さい。

■ 校正について

原稿の校正は、初校を著者校とします。校正に際しては文章の大幅な書き換え、追加などはご遠慮下さい。

■ 別刷および贈呈誌について

- ・別刷は30部まで無料とします。
- ・それ以上については、10部単位で承りますが、その実費を著者負担とします。
- ・論文筆頭者に掲載誌を1部贈呈いたします。

■ 著作権について

1. 本誌に掲載する著作物の複製権、翻訳・翻案権、上映権、譲渡権、公衆送信権（送信可能化権を含む）、貸与権、二次的著作物の利用に関する原著者の権利は、金原出版（株）に譲渡されたものとします。
2. したがって、前項の諸権利の許諾は小社が行います。
※著作物が適正に利用され、同時に違法コピーあるいは不正利用をされるのを防ぐためには、著作物にかかわる権利の適正な管理と運用を執筆者に代わって出版社が行うことが必要です。

■ 原稿送付先・お問い合わせ

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-14

金原出版（株）雑誌部

「産婦人科の実際」編集室

TEL03-3811-7165・FAX03-3813-0288

E-mail：sanpu@kanehara-shuppan.co.jp

